

The Learner

Doshisha International Academy Elementary School

September
ISSUE



September, 2021
Volume 115

オリンピックがもたらした多様性

長い夏休みが終わりました。子ども達にとって、家族と様々なところに外出できる1年で1番楽しい長期休みですが、今年も昨年度に続くコロナウィルスの影響で、多くの制限がある中での生活であったかと思います。

そんな中、東京で催されたオリンピックは私達に色々な影響を与えたのではないのでしょうか。大病から復帰した競泳の池江璃花子選手、連覇のかかった柔道の犬飼大志選手、逆境の中でプレッシャーをはねのけ、努力し続けるオリンピック選手は大変感動を与えてくれました。中でも私が一番注目したのは、選手の「多様性」というキーワードです。バスケットボールの八村塁選手、テニスの大坂なおみ選手、ゴルフの笹生優花選手など、多様なルーツを持つ日本選手の活躍は目覚ましいものでした。しかし、その反面 SNS を通じて選手が差別的な言葉を向けられるという現象は過去の大会よりも多かったと言われています。

女子バスケットボールの馬瓜エブリン選手は両親がガーナ出身です。小学校4年生の時は、その見た目からみんなにからかわれ、1人で過ごすことが多かったそうです。「日本人らしい体が欲しい。」と悩みながら、中学校1年生の時に人権作文にこう綴りました。「必死になってこみ上げてくる怒りを抑えました。新しい技を取得しました。それは悪口を言われても、認めて、面白いことに変えてしまうという技です。」その後、競技で活躍し、名前を呼ばれるのが嬉しくて、のびのび生きられるようになり、自信がついたと話しています。

ニュージーランドからはオリンピック史上初めて、男性から女性の性別変更を公表したトランスジェンダーの女子選手も出場しました。重量挙げ女子87キロ級のローレル・ハバード選手です。2017年

までは男子として活躍し、それ以降女子として大会に出るようになりました。それまでの道のりはとても陰しく、他国での試合で出場を取り消されたこともあったそうです。大会では、試技で失敗し、結果は残せませんでした。「私はずっと、ただ私自身でいたかっただけです。これが歴史の本の1ページとなり、その意味の大きさがどんどん薄れていくことを望みます。」とコメントを残しています。

もちろん全てが、エブリン選手やハバード選手のように成功体験で終わるとは限りません。しかし、今回のオリンピックで200人近くの選手がLGBTQをカミングアウトしたそうですが、ホスト国である日本では1人もいなかったと聞くと、複雑な気持ちにもなります。カミングアウトできる人は、IBのラーナープロフィールで言う **Risk-taker** だと思います。けれどもその勇氣ある挑戦も、受け入れる心を持つ周りの人達がいなければ、辛い経験になるかもしれません。校祖新島襄が国禁を犯してまで行ったアメリカへの渡航は、そこで出会った **Open-minded** なテイラー船長やハーディ夫妻らの多くの支えがあったからこそ、なしえることができたともいえるでしょう。身近なことで考えると、子どもたちが教室で手を上げて発言する、そんな **Risk-taker** なチャレンジは、どんな意見でも受け入れるよ、という先生やクラスの仲間達の温かい **Open-minded** な態度から生まれてくるものだと思います。

次回2024年のパリオリンピックがさらに発展し、多様な選手達が存分に活躍できる大会になることを祈っています。また、同志社国際学院でも、みんながいろんな考えを出し合い、認め合える、そんな子どもたちを育てていきたいと思っています。さあ、秋学期のスタートです！

教頭 西村孝次



キリスト教 教育テーマ

9月：調和 September：Harmony

「その時サウルは槍でダビデを壁に突き刺そうと狙った。」

サムエル記上 19 章 10 節

「妬みや利己心のあるところには、無秩序とあらゆる悪い行いがあるのです。」

ヤコブの手紙 3 章 16 節

(以上、聖書協会共同訳聖書より)

今夏、首都圏の車内でいわゆる「通り魔事件」が起きました。突如、10 人もの乗客が刃物で次々と切り付けられたのです。容疑者の男性は自身の人生に失望し、「自分の不幸は周りのせい。」だと考えるようになり、特に幸せそうな女性を見ると、数年前から殺したい衝動に駆られていたといいます。そして今回、車内でまず犠牲になったのが、外見からこの男性に「勝ち組」と判断された大学生の女性でした。何とも身勝手で恐ろしい犯行ですが、ニュースによればこの容疑者の男性は元々学業が優秀で、学生時代のサークル活動では集団に馴染みにくい部員を気遣うなどの優しさがあったということです。つまり、昨今普通に見かける好青年の部類だったわけです。それがその後どう歯車が狂ったのか、このような事件を起こしてしまいました。しかしながら私には彼が特別な人間には思えず、むしろ人が誰でも持つ危うさ、深い闇を代表しているような気がします。

過去にも様々な殺傷事件をニュースで見てきましたが、しばしば金品を奪う目的以外の理由で「普通の人」が殺人鬼になってしまったケースを見かけます。それは大概、男女関係のもつれ等、「妬み」が原因になっているものです。相手は決して殺されるような悪いことをしたわけでもないのに躊躇いなくその人に刃物を向け、強い力で心臓を一突きに刺し貫く。「普通の人」にこんな激情を抱かせるものが、「妬み」という感情なのです。

上掲一つ目の聖書箇所は旧約聖書の一節で、古代イスラエル王国の最初の王サウルと、後に二代目の王となったダビデの物語の一場面です。サウルは神の預言者に選ばれて王になったはずの人物でしたが、権力を掌握するにつれて初心を忘れ、神の命令ではなく自分の欲望のままに行動するようになりました。その結果神の霊はサウルから離れ、代わりにサウルは、しばしば悪霊に苛まれるようになります。そこで王の気分を少しでも良くするために、豎琴の名手が王宮に呼ばれました。それがダビデだったのです（これは今で言う音楽療法だと思われます）。ダビデはサウルが悪霊に苦しむたびに豎琴を弾き、また勇士でもあったので敵国との戦いがあると一生懸命戦って手柄を立てました。それもこれも全て、王のためを思っていたことでした。サウルは当初ダビデを大そう気に入り、自分のすぐ傍に仕えさせていましたが、ある日を境に彼に猜疑心を募らせるようになります。それは、ダビデが戦いに勝利を収めて帰って来た時に、町の女たちが喜び歌う内容を聞いてからでした。「サウルは千を討ち ダビデは万を討った。」サウルは激怒しますが、やがて民衆の人気ばかりではなく自分の息子や娘たちの心まで次々とダビデのものになっていく有様を見て恐怖すら感じ、いつしかダビデを亡き者にしたいと強く願うようになり、隙を見ては彼に槍を投げつけるのでした。その後サウルは戦いで深手を負い、敵兵が来る前に自殺しました。結果としてダビデは二代目の王になりますが、元は貧しい羊飼いの少年であり、どんなにサウルに辛い目に遭わされても決して恨まず、王としての彼に敬意を払い続けました。他者への「妬み」を自分が今持っているものへの「感謝」に変えることができていれば、サウルの人生ももっと幸福なものになったであろうと、考えずにはおられません。

Christian Education Committee チャブレン 石川眞弓

サウルとダビデ



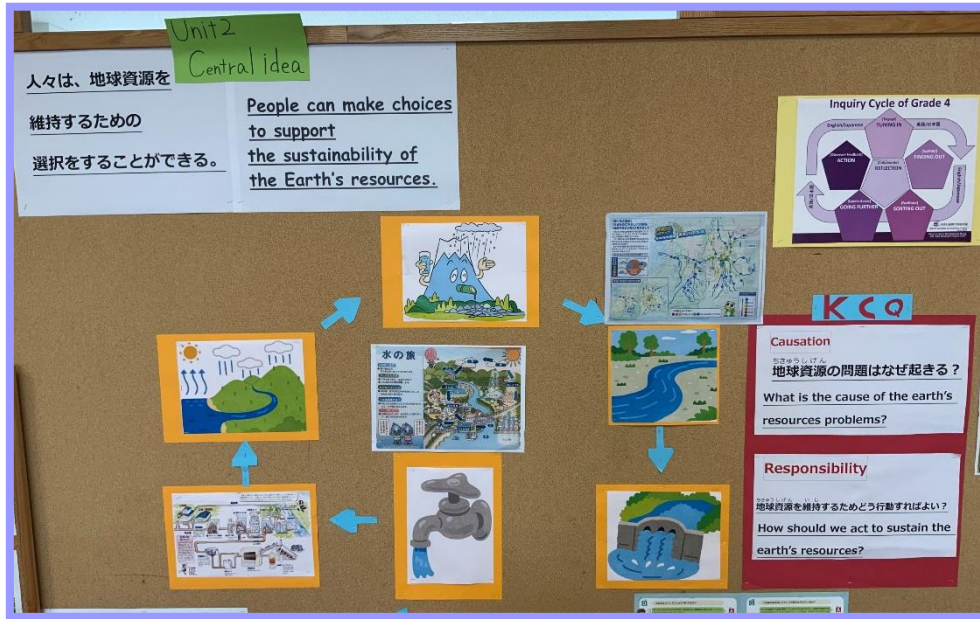
<お知らせ>

・9月のおにぎり献金は9月14日（火）です。感染症予防のため封筒などの小袋に入れて、お子様に献金をお持たせください。

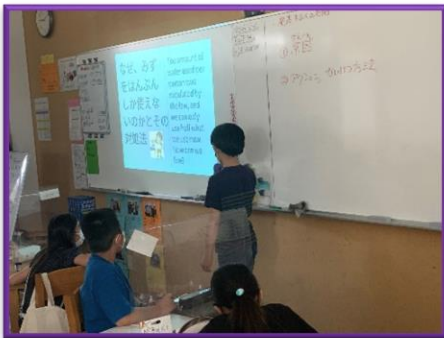
4 年生 ～春学期の探究の学び～

4 年生は UNIT2 で水の循環に関して学習しました。

Unit 2 は「人々は、地球資源を維持するための選択をすることができる。」という Central Idea をもとに探究しました。雨から始まり、川、ダム、浄水場、下水処理場を通して海へ戻り、雲を作り出すという「水の循環」がどのようなメカニズムになっているのかを、そして「水」という資源の大切さについて考えた Unit でした。



Unit 2 の教室掲示板。水がどのように家庭・学校へ届くのかについて学習を進めるたびに、児童の学びを視覚化し、コルクボードで全体に共有しました。



サマティブアセスメントでは 5 つの環境資源問題の中から 1 つのテーマを選び、その問題の原因と解決方法を考えました。

例えば、テーマの 1 つに「海が汚れて魚が取れなくなっている」がありましたが、その原因と自分が実際に解決するための行動を考えアクションにしました。児童個々のサマティブアセスメントは

ロイロノートのスライドにまとめ、クラス全体に発表を行いました。

児童は今回の UNIT を通して以下のような継続的な取り組みが見られました。

- ① 家のトイレにポスターを貼り家族全体に節水を呼びかける。
- ② 液体洗剤ではなく固形石鹸を使い、生活排水をできるだけ綺麗にする。
- ③ 雨水を溜めるバケツを家に置き、溜まった雨水で花壇の水やりや昆虫の霧吹きに使用する。

2 学期からもユニットで学んだ知識・スキルを実際の生活の場面で使うことができるよう子どもたちには深く学んで欲しいと考えています。





9 月は防災月間

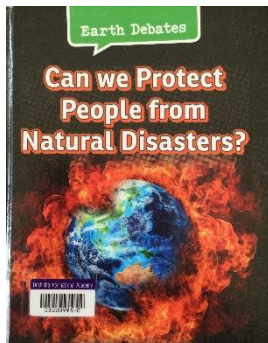
9 月 1 日は防災の日、9 月は防災月間です。1923 年 9 月 1 日は関東大震災が起こった日で、「天災は忘れたころにやってくる」と言いますが、「天災をわすれない」ために、また防災への意識を高めるために設定された日と言われています。

今月は DIA Library でも「防災」をテーマに特集コーナーを設置していますので、その中から子どもたちにぜひ手に取ってもらいたい本を紹介したいと思います。



○「つなみてんでんこ はしれ、上へ!」です。2011 年 3 月 11 日の東北大地震の際におきた実話をもとに作られています。釜石東中学校の生徒たちがとった行動で多くの命を救ったお話です。

○こちらは“Can we Protect People from Natural Disasters?” (raintree)です。地震、津波の他に、台風や干ばつ、火山噴火といった自然災害を取り扱い、どう自分の身を守るかについて英語で書かれています。地震の章には、日本の小学校の地震の避難訓練の写真が掲載されています。



○「防災クッキング」(フレーベル館)



こちらは地震などでガス・電気が使えなかったことを想定したクッキングブックです。火を使わなくても簡単

に作ることのできる料理のレシピのほか、停電の仕組みなども併せて載せられており、勉強になる上に役立つ本です。ご家族で試してみたいはいかがでしょうか。

4 年生では Unit 6 で、5 年生では Unit 5 で災害について学習する機会があります。是非、図書館に借りに来てください。

9 月の主な行事・予定

1	水	Unit 3 (week 1)
2	木	
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	Unit 3 (week 2)
7	火	
8	水	
9	木	入試準備/Entrance Exam. Prep. (午前授業/AM classes)
10	金	入試/Entrance Examination (自宅学習日)
11	土	
12	日	
13	月	Unit 3 (week 3)
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	敬老の日/Respect for the Aged Day
21	火	Unit 3 (week 4)
22	水	教員研修/Teacher training (午前授業/AM classes)
23	木	秋分の日/Autumnal Equinox Day
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	Unit 3 (week 5)
28	火	
29	水	
30	木	

10 月の主な行事・予定

10/18 Sports Day Week (27 日まで)

10/29 Halloween

*新型コロナウイルス感染状況により、変更の可能性がございます。